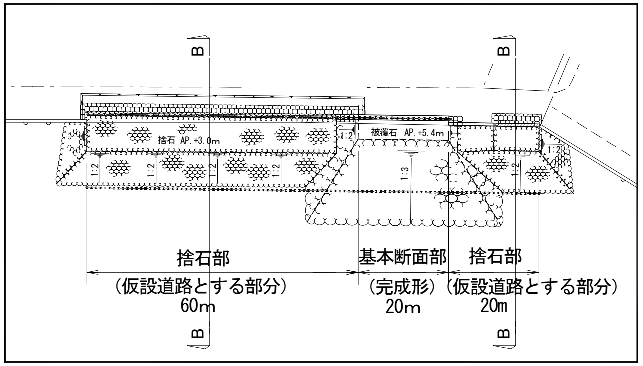

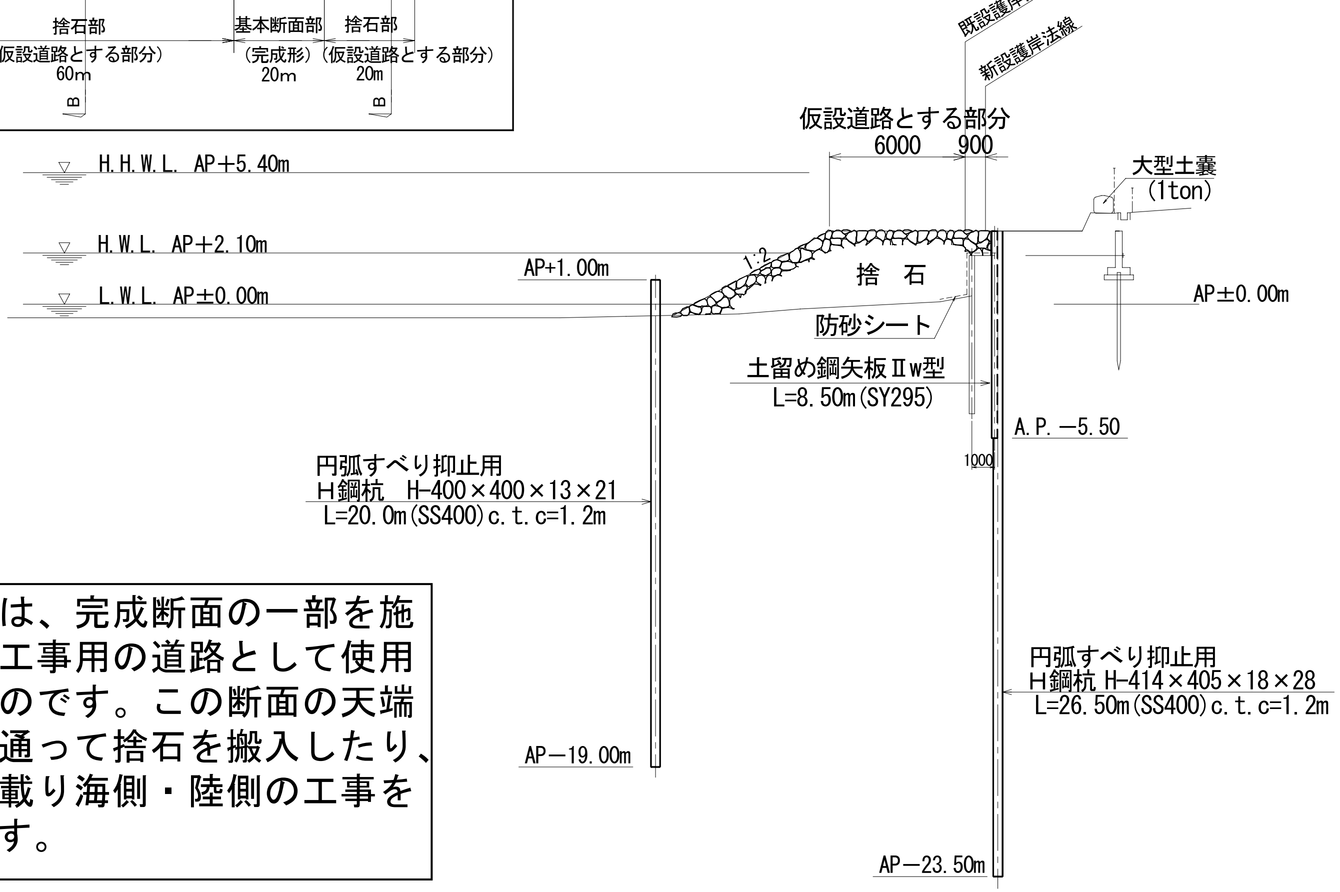

本断面は、完成断面の一部を施工して工事用の道路として使用するものです。この断面の天端部分を通って捨石を搬入したり、重機が載り海側・陸側の工事を行います。

ＢＢ断面
（捨石部：仮設道路として利用する断面）

平成17・18年度施工予定区間に関するモニタリング調査項目

塩浜２丁目のH17・H18年度施工区間（約100m）を対象とする。

項　目	目　　的	方　法	時期（間隔）	数量等
波浪 （流況）	護岸前面域の波浪(流況)状況変化の把握 ・波高・波向の計測 ・波浪流の計測(海底面上約1m)	波高・流速計の設置 (30日間連続観測)	①施工前：3月 ②施工後 秋季：9月 春季：3月	・護岸前面の1箇所(30日連続観測)
地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	①施工前：3月 ②施工後 ・秋季：10月 ・春季： 4月	・既設護岸法線から離岸距離100mまで ・施工範囲100mに対して5測線 （20m間隔）
底質	粒径の変化の把握	採泥・粒度試験	地形と同じ	深浅測量の中央の1測線で10m間隔で採泥（11検体）
生物	潮間帯生物の定着状況 ※調査は公開とし、ライントランセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	ライントランセクト法による観察	①施工前　　：3月 ②施工後1ヶ月：10月 ③施工後3ヶ月： 1月 ④施工後7ヶ月： 4月 ⑤施工後1年　： 9月	・施工区の中央部に1測線,対照区として測線L-2の1測線(100m)及び塩浜1丁目の応急補修工事区間の計3測線 ・石積護岸部(斜面上)： 方形枠(50cm×50cm)による連続目視観察 ・のり先から離岸距離10mまで1m間隔 ・のり先から離岸距離10～100mは10m間隔
		採取分析		・採取分析3検体×4時期 ・施工区の中央部の高潮帯、中潮帯、低潮帯で各1検体
景観	・周辺域との景観の調和 ・石積へのごみの堆積状況の把握	委員、一般市民参加による見学会形式	施工後数回	実施時期については、完成後の経過時間と台風後などの状況を踏まえて決定する。

注1：各調査の継続年については、モニタリング結果を検証しながら決定していくものとする。

注2：実施時期（間隔）については、状況（現地天候、予算等）により若干の変更を行う場合がある。